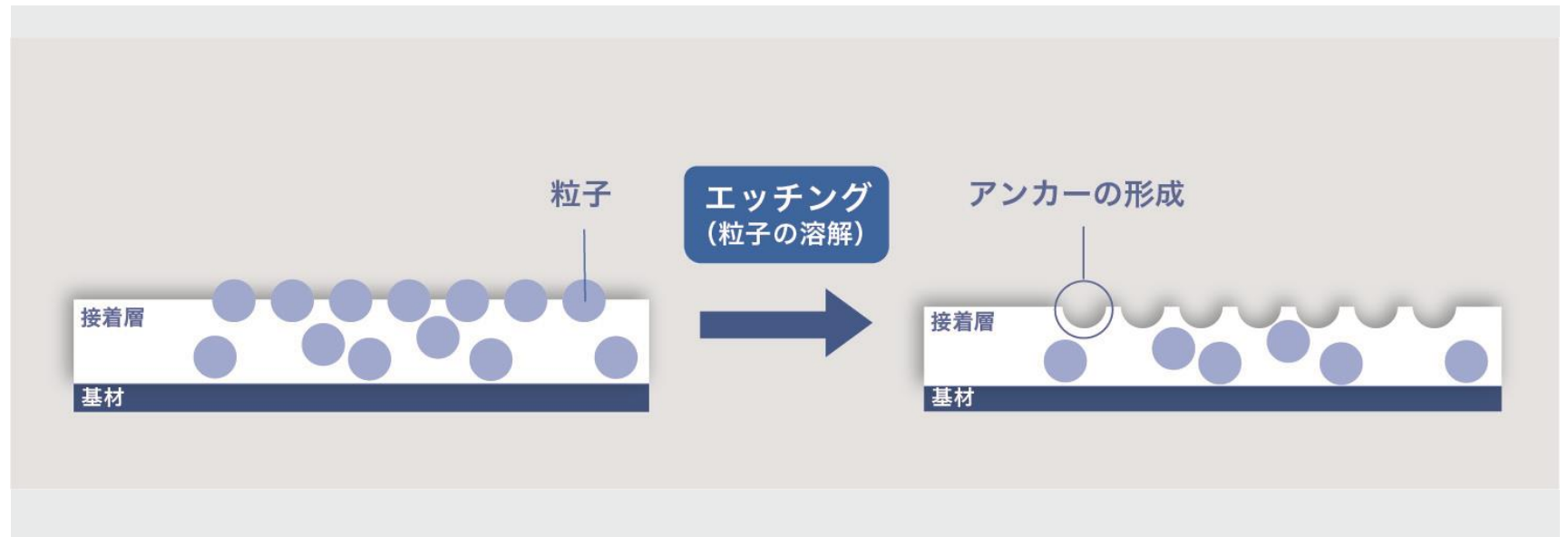


## 表面改質剤

付加機能例

表面粗化

密着性



製品名	性状		組成	電荷 (帯電性)	粒子径 ( $\mu\text{m}$ )	Tg ( $^{\circ}\text{C}$ )	軟化点 ( $^{\circ}\text{C}$ )	屈折率	官能基	特徴
	E	P								
FS-101	○	○	アクリル	アニオン系	0.08	60	205	1.49	-	ガラス転移温度が低く、低屈折率なタイプ
FS-102	○	○	スチレン・アクリル	アニオン系	0.08	100	225	1.53	-	ガラス転移温度が高く、高屈折率なタイプ
FS-106	○	○	アクリル	アニオン系	0.1	110	265	1.49	-	ガラス転移温度が高く、低屈折率なタイプ
FS-107	○	○	アクリル	カチオン系	0.1	110	255	1.49	-NH <sub>2</sub>	FS-106 の逆電荷タイプ (カチオン系)
MG-155	○	-	アクリル	アニオン系	0.1	-	-	1.49	-	架橋タイプ 基本エマルジョンで提供
MG-651	○	○	スチレン・アクリル	アニオン系	0.15	-	-	1.51	-	架橋タイプ 耐溶剤性良好
PZP-1003	-	○	アクリル	カチオン系	0.1	-	-	1.49	-NH <sub>2</sub>	架橋タイプ (粉体でのみ提供)

●上記データは代表的な値であり、規格ではありません。